

大阪市立大学 第20回 人権フェスティバル

～ヒバクシャはなぜ声をあげ続けるのか～

広島・長崎に原爆が投下されてから73年、被爆者の平均年齢は82歳を超えています。しかしながら、被爆者たちは今日も自ら街頭に立ち署名を集め、国内外で証言を続けています。被爆者たちはどんな思いで声をあげ続けているのでしょうか。「人間の尊厳を取り戻そう」と歩み続ける被爆者たちの運動について、高校以来、被爆者とともに行動を続ける若者の視点で語ります。

日時：平成30年12月7日（金） 10：40 ～ 12：10

会場：大阪市立大学 学術情報総合センター10階大会議室

講師：林田光弘 氏

◆◆プロフィール◆◆

1992年 長崎県生まれの被爆3世。元高校生平和大使。中学時代から平和運動に携わり、2016年より「ヒバクシャ国際署名」の事務局キャンペーンリーダーを務める。

◆◆「ヒバクシャ国際署名」とは？◆◆

日本で初めての、被爆者自らが呼びかけ人となった署名活動。2016年4月にスタートし、2018年9月30日現在830万筆を超える署名が集まっている。



【定員・申込方法】 大阪市立大学 学生・教職員・市民 …… 定員250名
申込不要／当日先着順

【お問い合わせ先】 大阪市立大学 人権問題委員会事務局
(学務企画課庶務担当 平日9：00～17：00 TEL：06-6605-2935)

主催：大阪市立大学 人権問題委員会

